

瀬田川の侵略的外来水生植物(オオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウ)の駆除を NPO法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA) と協働で実施しました。

H29.9.9

—琵琶湖河川事務所—

琵琶湖河川事務所は、瀬田川において繁殖の拡大が著しい侵略的外来水生植物(オオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウ)の駆除に積極的に取り組んでいます。

9月9日(土)に開かれた、NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)主催の「琵琶湖外来水生植物除去大作戦2017」にも琵琶湖河川事務所職員14名が参加し駆除活動を行いました。

また、当日朝9時より行われた開会式には琵琶湖河川事務所長が来賓として出席しました。

概要

- 「琵琶湖外来水生植物除去大作戦2017」
- 主 催：NPO法人国際ボランティア学生協会
- 日 時：平成29年9月9日(土)
- 場 所：瀬田川左岸(滋賀県大津市稲津地先)他

- 参加者：NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)300名
- 琵琶湖河川事務所 職員14名
- 河川愛護モニター1名、琵琶の会2名
- 合計 317名

【開会式：市民プラザ（滋賀県大津市由美浜地先）】



学生代表 挨拶



来賓代表挨拶 滋賀県知事



来賓紹介 琵琶湖河川事務所長

○時 間：9：00～9：30

- 参加者：滋賀県知事 三日月 大造 氏
- 琵琶湖河川事務所長 水草 浩一 氏
- 他 合計約600名



【駆除活動（瀬田川左岸：大津市稲津地先）】 ○時 間：10：00～16：00



職員によるライフジャケット装着説明



ボートによる水面からの駆除



高水敷での外来水草集積状況



駆除した外来水草の運搬



水際での駆除



外来水草仮置き状況

駆除数量：約8.5t

【参加者の感想】

- ・水中作業は不安定で、きちんとライフジャケットを着用する必要性を改めて感じた。
- ・陸上まで伸び、捨石護岸の隙間に生えている水草を駆除するのが難しかった。
- ・多くの学生や一般の方が参加し真剣に駆除している姿から、外来水生植物への関心の高さを実感した。



【問い合わせ先】国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 河川環境課
〒520-2279 大津市黒津4-5-1 TEL 077-546-0844 (代表)

